

仁雄会
穂高病院
広報誌

ふんあひ

2019
10
No.40

- 往事茫茫
- 第14回病院祭
- 委員会紹介「診療報酬精度委員会」
- 松本ぼんぼん参加
- 第37回全国新作花火競技大会
- 可動式授乳室 mamaro (ママロ) 設置
- 災害時医療チーム



撮影：大久保 喜雄

往事茫茫

生来社会的でなかった私は、これまで一度も学校の同窓会というものに出席したことがありません。そんな私でも、高校3年の時からの親友K君だけは、今でも交流が続いています。理系進学クラスで初めて同級クラスになったK君とは、なぜか初対面の時から気が合い、時折授業を抜け出しては街中に遊びに行ったりしていました。

高3の夏休み明け。やっと大学受験を意識し始め、まずはふたりで大学訪問をしてみよう、ということに。開業医の三男だった彼は、2人の兄がすでに医大に進学しており、当然医学部志望でした。当時彼が金沢大学を第一志望としていた関係で、とりあえず金沢行の夜行列車に乗りました。大学と兼六園を見学してから、じゃあ、せっかくだから帰りに信州大学にも寄っていいこう、ということに。ところが、途中で寄り道して黒部のトロッコ列車に乗ってしまったために、糸魚川駅に着いたのは大糸線の最終列車が出たあとでした。

しかたなくその日は糸魚川駅で野宿をし、



翌朝の始発で松本に向かいました。前夜の寝不足から車内で眠ってしまい、残念ながら当時の車窓の風景が記憶にありません。今と違って古い木造駅舎だった松本駅の二階で朝食を食べ、信州大学のキャンパスの中をぶらついてから帰途につきました。

大学受験前の一番大切な時期にこんな珍道中をしていたふたりでしたから、当然受験には失敗し、またふたりで予備校に通うことになりました。彼と一緒にいるうちに、いつの間にか自分も医学部を受験することになり、翌々年（昭和49年）にやっと、彼は筑波大学へ、私は信州大学へ入学することになりました。

今にして思えば、高3の時に彼に出会わなかったら、また、彼に誘われてあの珍道中に出かけなかったら、今ここで医者をやっていることはなかったのではないか。今になって運命の不思議さ、出会いの大切さをしんみりと感じています。

毎朝通勤途中で、松本行の大糸線を見かけるたびに思います。50年前のあの電車の中に、遠く茨城からやってきた、まだ何者でもないふたりの高校生が乗っていたんだなあ。

ちなみに、私と正反対ですこぶる社会的なK君は、しばらく前から東京医大の関連病院の院長を務めています。

消化器内科医師 川嶋 彰

第14回 病院祭



10月20日、「第14回穂高病院祭」が開催されました。テーマは『令和元年 これからも地域医療のために』もっと知って欲しい穂高病院の内視鏡』です。前日からの雨も上がり、秋空の下堀金常念太鼓によるオープニングセレモニーが行われ、年長から小学六年生までの子供達による演奏が始まると徐々に人が集まり、迫力ある演奏と共に盛大に病院祭は開会されました。

イベントホールでは穂高南小学校5年1組の皆さんによる合唱が行われました。「コンクールに向けて練習に取り組んだ歌を含め三曲披露して頂ました。2曲目の「負けないで」では、患者さんに負けないでという子供達のエールが込められ心に響きました。最後に千羽鶴が病院に寄贈されました。子供達の病院・患者さんへの思いが伝わりとても心温かい時間を過ごすことができました。

講演会では当院内科川嶋医師による「消化器内視鏡」何がわかるか、何ができるか」というテーマで主に上部消化管の内視鏡検査について実際の画像や経験を交えながら、消化器治療で印象的だったこと、内視鏡治療の進歩など分かりやすく説明して頂ました。この講演を聴き、早期発見・早期治療には内視鏡検査はとても重要であることや、経鼻内視鏡検査の良さも分かり、「よし内視鏡検査を受けよう！」と思った方も多かったのではないのでしょうか。

4 階会場では職員作品展・パネル展示、体験コーナーが催され、内視鏡体験・腹腔鏡体験・ハンドマッサージ・お薬分包機・こども白衣体験などが楽しめました。ほかにも3階会場ではサイクルコーナー、1階産婦人科外来ではベビーマッサージ、駐車場ではナンカレー・焼きそば、フランクフルトなどの屋台、献血など盛りだくさんの催し物が目白押しでした。

最後はイベントホールで安曇野ひろし・まどかさんによるマジックショー。大いに盛り上がり、病院祭は閉会となりました。

今年もたくさんの方々にご足を運んで頂きありがとうございました。穂高病院の特色を知ってもらう良い機会になったと思います。また、色々な企画を計画し、実行されたスタッフの皆さんお疲れ様でした。

(放射線科 勝野美和)



委員会紹介

診療報酬精度委員会

診療報酬精度委員会は、月に1回第3水曜日に開催しています。診療報酬の返戻・査定内容の報告と説明、その他診療報酬請求に関する事項について検討・審議を行っています。

具体的な活動内容としては、返戻・査定額の調査をして、この対応策を考えて関係者に伝達し、返戻・査定を減らす方法を考えます。返戻とは、治療内容・保険情報に不備があり、請求先より確認のために一旦戻され再検討されること。査定とは、診療内容が正しくないか否定され減点されてしまう事をいいます。査定で納得のいかない内容については、委員会にて検討を行い、担当医に確認、再審査を申し込んでの復活を目指しています。

これからも各診療科の医師やスタッフ等関連部署と連絡を取り合い、返戻・査定にならない請求業務が行えるよう努力し、情報を発信していけるよう取り組んでいきます。

(診療報酬精度委員会 羽多野智子)

松本ほんぼん参加

令和元年



当院初の試みとして第45回松本ほんぼんに職員親睦会として正式に参加出場しました。発足当初は一部の盛り上がりから始

まり、30人程度を目標に参加者を募っていたところ、最終的には職員家族も含め総勢58人の方に集まって頂きました。忙しい中直前まで仕事終わりに集まって皆で振り付けの練習をしながら、本番大丈夫だろうか心配したこともありましたが、当日病院の法被を身に纏った皆の姿は、ひとつの目標の為に力を合わせた穂高病院の団結力と職員親睦会である「みのり会」の皆さんの努力の結果といえるものであり、自画自賛ではありますが改めて穂高病院のスタッフで良かったなと思いました。現地に集合した時に降っていた雨もスタート時には上がり、お祭り自体も滞り無く成功に終わり本当に良かったと思います。

新たな時代「令和」をお祭りと同じ様に皆で力を合わせて、良い時代にしていきたいものです。

(療養病棟 奥原 祐介)

親睦会行事

諏訪湖新作花火大会編

毎年恒例となりました全国新作花火競技大会へのバスツアーを開催。



大型バスに乗り込み、職員やその家族を乗せ、ビール片手にいざ出発！途中、諏訪のおぎのやに立ち寄り、名物の釜飯やら飲物などを調達しいよいよ諏訪湖へ。



諏訪湖畔には焼き鳥、ジャンボフランク、大阪焼き、クレープなどの屋台ガスライリ立ち並び、すでに多くの人で賑わっている。

19時、諏訪市長の挨拶を合図に無数の花火が諏訪湖の夜空を彩る。花火の打ち上げ場所、観覧場所として全国でも有数のロケーションを誇るこの諏訪湖を舞台に、全国の意欲ある煙火師が、従来の枠にとらわれない斬新な発想と独創の技術で創作した芸術性の高い新作花火を競うこの花火大会は、諏訪湖祭湖上花火大会とはまた一味違い、見事の一言である。来年も是非参加しよう！

(親睦会会長 相澤 秀次)

可動式授乳室 mamaro(ママロ)設置



赤ちゃんの授乳やオムツ替えに利用できる個室の可動式ベビーケアルーム「mamaro」が売店前の談話コーナーに設置されました。

これまで院内での授乳の際には、スタッフに声を掛けて産婦人科や小児科にある処置室の一角を利用してもらっていましたが、そこで、もっと気軽に自由に使える授乳室がないかと探していたところ出会ったのがこの可動式の「mamaro」です。

畳1畳弱のスペースに、固定ソファーク可動式椅子が一つずつ備えています。また、mamaro自体がインターネットに繋がっているしくみとなっており、一日の使用件数や平均使用時間がオンラインで確認できます。更には、閉じ込めが起きたりしないよう、30分を超える利用の場合は管理者に警報を知らせるメールが届くしくみになっており安心です。

現在は、一日平均5組ほどの利用があります。合わせて隣にキッズスペースを設け、付き添いの子供さんが楽しく待てるようアメニティの充実を図りました。見た目もかわいいう「mamaro」。受診の際にはぜひご利用ください。

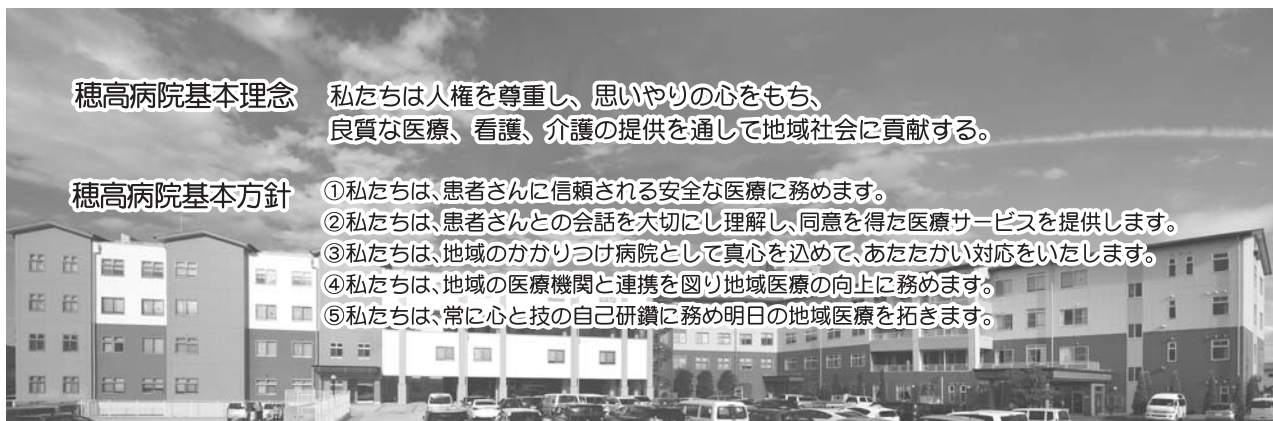
(運営管理室 大野 寛子)

災害時訓練



穂高病院には災害救護チームがあります。職員により組織され、災害時に対策本部長(病院長)の命により緊急出動し救護にあたることになっています。毎年防災の日前後に実施される自治体の総合防災訓練に合わせて訓練を行っています。したが、本年は当日が別の業務に当たってしまったため病院独自の訓練となりました。

訓練は緊急連絡網による伝達から始まりました。救護チームの面々は二つオームに身を包み続々と病院正面玄関に設けられた救護対策本部へと集まってきました。本部長の指示により被害状況の確認訓練や伝達訓練、初期消火訓練などを行いました。その後負傷者の重症度により治療の順番を決めるトリアージ訓練を行いました。こうした訓練を繰り返すことで普段より防災意識を持ち、それをそれぞれの部署や家庭内にも横展開し日頃の備えを万全なものにしたいと思いました。



穂高病院基本理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心を持ち、
良質な医療、看護、介護の提供を通して地域社会に貢献する。

穂高病院基本方針

- ①私たちは、患者さんに信頼される安全な医療に務めます。
- ②私たちは、患者さんとの会話を大切に理解し、同意を得た医療サービスを提供します。
- ③私たちは、地域のかかりつけ病院として真心を込めて、あたたかい対応をいたします。
- ④私たちは、地域の医療機関と連携を図り地域医療の向上に務めます。
- ⑤私たちは、常に心と技の自己研鑽に務め明日の地域医療を拓きます。

診療案内

令和元年 10月

診療時間

午前 9:00 ~ 12:30 午後 15:30 ~ 18:00 (最終受付 17:30)

お問合せ

電話 0263-82-2474

◎木曜日・土曜日の午後及び、日曜・祝祭日は全科休診となります。

診療科目 / 曜日		月	火	水	木	金	土	
内科	(1診)	午前	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚) [1~4] / 川嶋(5)	
		午後	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)			
	(2診)	午前	信大(循環器)	川嶋	信大(循環器)	折井(呼吸器)	川嶋	永江
		午後	川嶋		寺島(益)			
	(3診)	午前	寺島(益)	大久保	大久保	大久保	寺島(益)	寺島 [1,3,5] / 川嶋 [2,4]
		午後	大久保~17:00	寺島(益)	大久保~17:00			
整形外科	午前	古川(雄)		古川(雄)	古川(雄)	古川(雄)	古川(雄) 信大医師 [4週2診]	
	午後		古川(雄)					
外科(乳腺・甲状腺)	午前	小松	小松	小松	小松	小松	小松	
	午後							
産婦人科	(1診)	午前	古川(哲)	宮本	古川(哲)	古川(哲)	古川(穰)	
		午後						宮本
	(2診)	午前	古川(哲)	宮本	宮本	宮本		
眼科	午前	亀田	寺島(紀) 受付 11:00 まで	野口	亀田	亀田	信大医師 受付 12:00 まで	
	午後		亀田【予約検査】	亀田				
小児科	午前	黒川 門田 10:00 ~	黒川	黒川	黒川	門田	黒川	
	午後	黒川						
形成外科	完全 予約制	第2・第4木曜日 9:00 ~ 12:00 信大医師						
循環器科		毎週月・水曜日 9:00 ~ 12:30 信大医師						
禁煙外来		毎週火・水曜日 14:00 ~ 15:30 大久保 / 毎週木曜日 12:00 ~ 13:00 折井						
脊椎外科		第2・第4金曜日 14:30 ~ 15:30 信大医師						
上部内視鏡検査	望月 川嶋	古川(直) 信大医師	古川(直) 川嶋	古川(直) 川嶋	古川(厚) 信大医師			
下部内視鏡検査	川嶋	古川(直)	川嶋		古川(直)	古川(直)		
ドック(12:50~)	大久保 村山	寺島(益) 村山	古川(直) 村山	川嶋 村山	古川(厚) 村山			
特定健診(9:30~)	村山	上條	寺島(益)	村山	村山			
往診(13:30~)	古川(厚)	古川(厚)	古川(厚)		古川(厚) 第3週			

◎眼科受付時間:火曜 11:00 まで、土曜 12:00 までとなります。なお火曜午後は予約検査のみです。外来診療は行っておりませんのでご了承下さい。

◎内科は診療予約も行ってあります。(電話でも可) 予約・変更またはお問い合わせは全科 13:30 ~ 15:30 の間にお願い致します。

◎人間ドック及び検診の予約については、健康管理部直通 0263-81-1011 までお問い合わせ下さい。

受付時間 平日 8:30 ~ 16:30 / 土曜日 8:30 ~ 11:30



医療法人
仁雄会

穂高病院

TEL 0263-82-2474(代) FAX 0263-82-7514

〒399-8303 長野県安曇野市穂高4634 URL <http://www.hotaka-hospital.or.jp>